

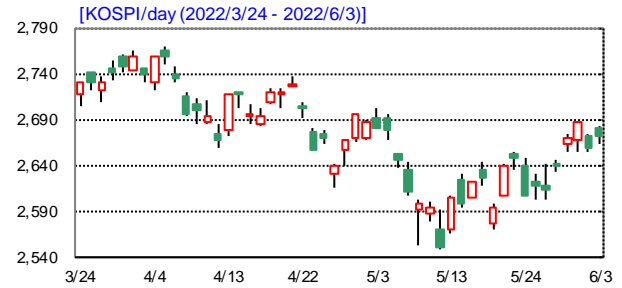


【韓国】 総合指数は 1.2%高と反発、今週も米株式相場をにらんだ展開か

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 1.2%高と反発。6月1日が地方選挙で休場のため、4日間のみ取引。週明け5月30-31日は前週末からの3営業日続伸となり、約1カ月ぶり高値を更新した。米株高の流れを受けて韓国市場にもハイテク株を中心に買いが波及。海外機関投資家の買いが目立った。中国・上海のロックダウン（都市封鎖）が解除されることを受けて、中国の景気不安が和らいだことも地合いの改善につながった。一方、休場明け6月2日は米金融引き締めへの懸念が再燃し、韓国市場ではリスク回避が優勢となり、4営業日ぶりに反落した。週末3日は前日の米株高に加え、韓国政府の入国規制の緩和方針を好感して反発した。今週も米株式相場をにらんだ展開か。国内では22年1-3月期のGDP成長率改定値が発表される。

▼指数チャート

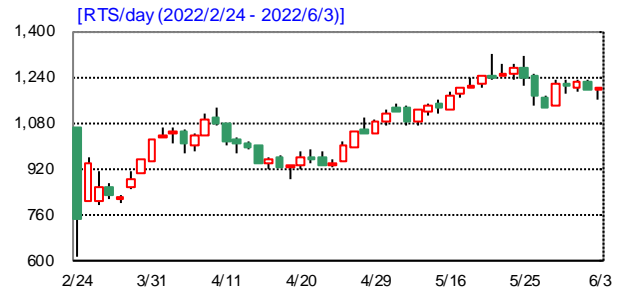


【ロシア】 RTS 指数は 5.8%高と大幅反発、今週もルーブル相場に左右されるか

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 5.8%高と大幅反発。EU の追加経済制裁が重しとなる中、ルーブルが大幅に反発し、指数を押し上げた。週明け5月30日はルーブル建ての MOEX 指数が前週末比 0.3%安となったが、米ドル建ての RTS 指数はルーブル高を追い風に 7.2%高と急伸した。その後は EU による追加経済制裁が上値を圧迫し、一進一退で推移した。ルーブル相場はロシア中銀の利下げを受けて前週に対米ドルで 7.6%安となったが、先週は 4.9%高と反発。ブレント原油は 0.2%高と3週続伸した。個別銘柄ではエネルギーのガスプロムが 0.8%高、資源のノリリスク・ニッケルも 0.8%高となった一方、エネルギーのノバテックが 14.9%安、ロスネフチが 9.0%、ルクオイルが 7.2%下落した。今週はルーブル相場に左右される展開か。

▼指数チャート

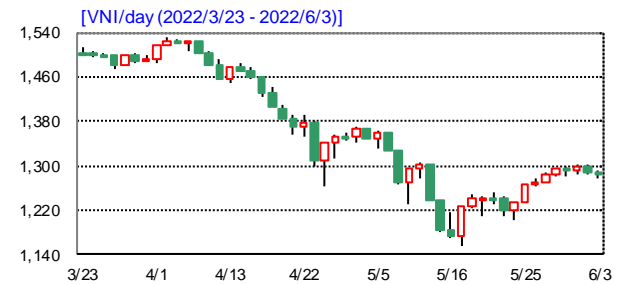


【ベトナム】 ベトナム指数は週間で 0.2%高と3週続伸、今週は底堅い展開か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 0.2%高と3週続伸。海外投資家の買いを受けて堅調に推移したが、心理的節目の 1300 ポイントが意識され、上値は限られた。週明け5月30日は海外投資家の買いが強まり、VN 指数は前週末比 0.7%高と5営業日続伸。指数は先高観を背景に1日の場中に5月12日以来約3週ぶりに 1300 ポイントを上回ったが、その後はこの水準が心理的節目として意識された。個別ではエネルギーのペトロベトナム・ガスが 12.9%高と急伸し、PC・携帯電話販売のモバイル・ワールドが 4.4%、食品加工のマサン・グループが 2.5%、不動産のビンホームズが 2.5%上昇。一方、鉄鋼のホア・ファット・グループが 5.8%、食品加工のピナミルクが 3.7%、金融のベトナム投資開発銀行が 2.7%下落した。今週は底堅い展開か。

▼指数チャート



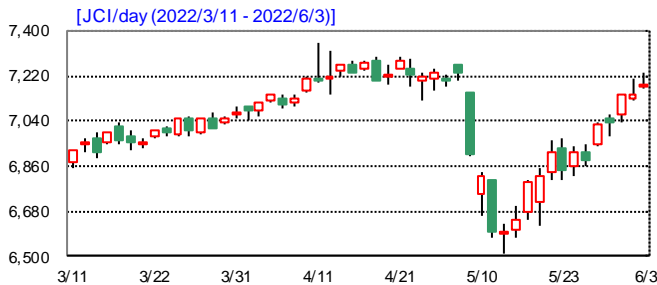


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 2.2%高、上海の都市封鎖解除を好感

ジャカルタ総合指数は4日間の取引で2.2%高と3週続伸。5月月間では1.1%安。先週は1週間を通じて終値で7000ポイント台を維持した。週初の30日は、前週末のNYダウが上昇したほか、上海市政府が前日に景気刺激策を発表したことで買われ、指数は続伸。31日は上海の都市封鎖解除を翌日に控え、経済再開への期待感から中国株が上昇した流れで、前日比1.6%高と上値を広げた。祝日を挟んだ2日は小幅に反落したが、3日は米国の金融引き締めに対する警戒感が和らいだ効果で反発して引けている。今週は10日に4月の小売売上高が発表される予定。外部要因では中国の5月の貿易統計が意識されそうだ。

▼指数チャート

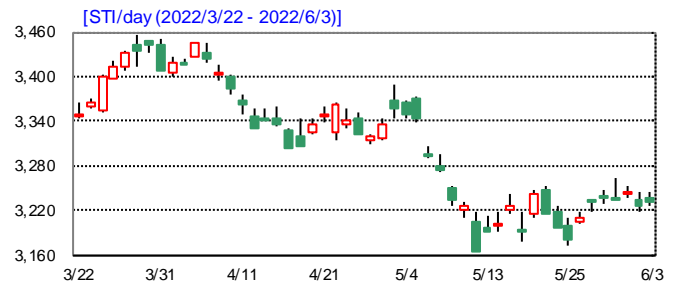


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】スレーツタイムズ指数は 0.04%高、OPEC プラスの増産幅拡大を好感

スレーツタイムズ指数は週間で0.04%高とほぼ横ばい。5月月間では3.7%安。先週は一進一退の値動きが続いた。週初の30日は、米ドル安シンガポールドル高が進んだ効果などで買われ、指数は3営業日続伸。31日は反落したが、1日は上海市の都市封鎖が約2カ月ぶりに解除され、景気回復に対する期待感が高まり反発した。2日はOPECプラスの会合後の声明発表を目前に控え、原油供給に対する先行き不透明感が広がった影響で売られたが、3日は7-8月の原油の増産幅拡大が決まったことが好感され、反発して取引を終えている。今週は国内の重要イベントが少なく、外部要因が指数を左右する展開か。

▼指数チャート

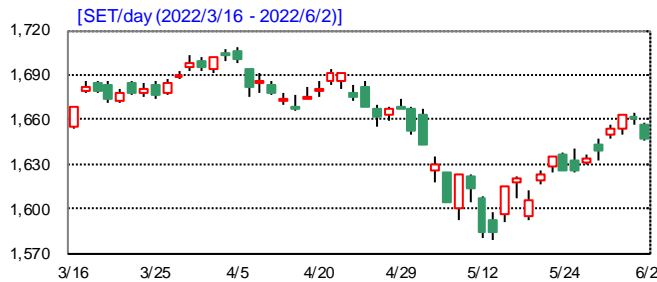


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.5%高、今週は 8日に中央銀行が金融政策決定会合を開催

SET 指数は4日間の取引で0.5%高と3週続伸。5月月間では0.2%安。先週は週半ば以降に下落し、上昇幅が縮んだ。週初の30日は、4月の鉱工業生産が市場予想から下振れしたものの影響は軽微で、指数は3営業日続伸。31日も買い優勢の展開が続いたが、1日は米ドル高バツ安が進んだことなどが売り材料視されて5日ぶりに反落した。2日は前日のNYダウがインフレ懸念の高まりを受けて下落した流れを引き継ぎ、続落して連休前の取引を終えている。今週は6日の5月のCPI発表に続き、8日には中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催する予定で、政策金利は0.50%に据え置かれるとの見方が優勢。

▼指数チャート

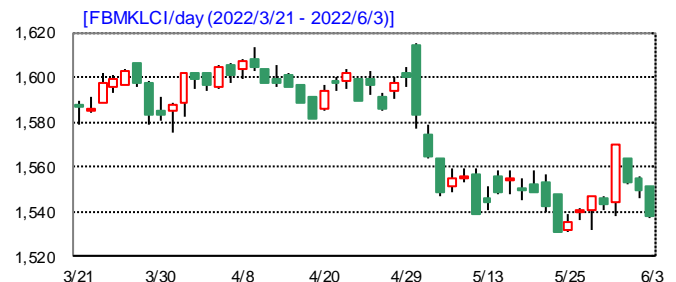


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.6%安、今週は 4月の鉱工業生産に期待

クアラルンプール総合指数は週間で0.6%安と続落。5月月間では1.9%安。先週は週末の下落が響いた。週初の30日は、インドネシアのパーム油輸出再開を受けてマレーシア先物価格が下落した影響で、クアラルンプール・ケボンなどのプランテーション株が売られ、指数は4営業日ぶりに反落。31日は引け際の買いが奏功し、前日比1.8%高と反発したが、1日は反動で売られ、前日比1.1%安と値を下げた。週後半は2日に続落すると、3日は銀行と通信株の利益確定売りが指数下落を主導し、下値を広げて取引を終えている。今週は10日に4月の鉱工業生産が発表される予定。6日は国王誕生日のため休場となる。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。